

令和7年度第7回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年10月15日(水) 午後1時30分～午後2時50分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 丸 徹 也
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 山 田 敦 久 社会教育課長 千 葉 真 奈 美
委 員 多 田 千 鶴 合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
(欠席 加藤 洋之 委員) 学校給食センター所長 河 口 光 輝
学校教育課主幹 手 塚 佳

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

(1) 教育長挨拶

【各種会議、イベント等について写真などを用いて説明】

- ・10月に入り、一年の半分が過ぎ、後半に入った。10月21日から第3回定例会の一般質問が行われる。
- ・士別小、士別中の授業参観に行き、特に士別中学校の音楽の授業では、中学3年生が豊かな心で、みんなと相談して授業に取り組んでいて、とても感動した。
- ・国では、新しい学習指導要領を作成していて、その中に、「好き」を育み「得意」を伸ばす、という言葉があり、子どもたちは勉強でもスポーツでも、好きということ、自分がやりたいこと、得意を伸ばしていくという姿勢が大事。
- ・8月末に次年度予算の概算要求。文部科学省では、小学校の給食無償化を事項要求としており、来年度内には無償化になるかもしれない。
- ・全国商業高等学校英語スピーチコンテストで全国優勝し、文部科学大臣賞を受賞。教育長室、市長室へ挨拶に来ていただいた。
- ・全道へき地・複式教育研究大会上川大会が開催。オープニングで温根別小学校の子供太鼓を披露。2日目は上士別小で授業を行った。上士別小に2年間お世話になったということで感謝状が贈られた。
- ・川内村の小学生が来土、南小で授業などを行った。川内村教育長が14年前の震災の時のことを授業で話していただいた。
- ・JA北ひびきから、米、野菜などを寄贈いただいた。
- ・南中、上士別中、朝日中の学校祭、士別中の体育祭・学校祭、士別翔雲高校の参観日に出席。
- ・認知症サポート養成講座、士別幼稚園の発表会、チャレンジ応援事業について紹介。

(2) 議事について

○泉山教育長 進行

議案第17号 令和7年度士別市文化賞の選定について、説明を求める。

○千葉課長

9月29日に文化賞審議会があり、審議の結果、満場一致で、候補者に文化賞を送ることが適当との答申があった。この答申を受け、本教育委員会会議での承認後、市長に報告をするという流れになる。

○泉山教育長

この件について、委員の皆さんからご意見などはあるか。

(意見なし、全員了承)

○泉山教育長

議案第18号 士別市スキーリフト条例施行規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○徳竹課長

昨年、利用者の人数や従業員の勤務シフトなどの関係から、1月1日を休みにしてテストしてみた。利用人数、利用者の声、そして従業員の意見等々も踏まえ、正式に今シーズンから元旦を休みにしようということから規則を改正する。

あわせて、「き損」を「毀損」に、これは庁内一律で、ひらがなを漢字に統一するというので改正を行うものである。

○泉山教育長

規則の改正については、このような形でよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第19号 令和7年度士別市教育委員会補正予算について、説明を求める。

○河口所長

学校給食費物価高騰対策事業費については、物価高騰の影響を受けた子育て世帯の負担を軽減することを目的に、3学期相当分、1人あたり50食分にあたる給食費を無償という形を取るため、学校給食会に対する補助金について補正する。対象者は、市内の小中学校で給食を喫食している児童生徒の保護者で、学校の教職員及び士別東高校については、義務教育外ということで対象外としている。

補助金額は、小学生で540人分を50食分、中学校で305人分を50食分、その他事務費などを見込み、合計1,373万4,000円を計上している。

次に、学校給食センター整備事業費については、今後の給食の無償化を見据え、週1回の持参ご飯を完全委託ご飯化に向けた整備をするため、今回の補正になっている。

委託化に伴い、炊飯量が増量になることもあり、委託業者さんとも協議し、現在、市内4校と和寒町で実施している弁当箱によるご飯の提供を、おひつ方式での提供に切り替えという形になる。

それに伴う必要な物品で、ご飯用の茶碗、食缶、保管庫、しゃもじなどの消耗品を整備するもの。

これに合わせて、現在、献立をAコース、Bコースと分けているが、児童生徒数の減少に伴い、一本化できることから、統一させたいと思っている。

○丸部長

学校給食費物価高騰対策事業費の財源内訳にあるとおり、国庫支出金で1,295万5,000円となっている。これまで、国が行ってきた物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金事業で、今年度は1,292万5,000円という配分額があった。

昨年度、市立病院や介護事業所に対する物価高騰対策補助金という形で行ったが、今回は、学校給食の部分で対応させていただく。

冒頭、教育長からの説明で、来年度、国では小学生の給食無償化を始めるという話があったが、現段階では不透明な状況。我々としては、もう1つ説明した給食センター整備事業という部分で、持参

ご飯の廃止についても将来的な無償化に向けた対応ということと、完全な委託化を図っていくため、合わせた補正になっていることを補足させていただく。

○泉山教育長

補正予算について意見、質問はあるか。

○馬場代理

これまで、弁当箱のような容器に入ったものが配られていたが、これからは、おひつからお茶碗によそって食べることになるのか。

○河口所長

人数分のご飯が入るサイズのものを用意し、全部二重の食缶切り替えることを考えており、保温性能もしっかりとしたものを考えている。

○泉山教育長

補正予算についてはよろしいか。

(全員了承)

(3) その他

◇土別市中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進ガイドラインについて

○手塚主幹説明

- ・令和7年度から10年度における学校部活動に範囲を絞った形でのガイドラインを策定。
- ・基本目標を「生徒が多様なスポーツ、文化活動に参加できる機会の確保」とした。
- ・方針1は「連携から展開へ」とし、8年度から10年度の間は可能な種目において休日の部活動の地域展開を進めるという目標を示した。
- ・方針2は「部活動の良さを生かした地域展開」とし、地域・学校・行政が一体となって進め、部活動としての維持が難しい種目については、地域クラブと位置付け、部活動に準じたサポートを受けられるようにすることを考えていく。
- ・方針3を「情報発信と連携」とし、行政だけではなく、協議会も含めて一緒に考え、情報発信していくことを考えていく。
- ・以降、地域展開推進ガイドライン（概要版）に沿って説明。

◇令和7年度上川管内社会教育委員連絡協議会表彰について

○千葉課長説明

- ・社会教育委員として10年以上務めていただいた方3名が表彰対象となり、10月8日に当麻町で開催された研修会で表彰を受けた。来年度は全道表彰に推薦をさせていただく予定。

◇第3回定例会における一般質問について

○丸部長説明

◇予算決算常任委員会（決算審査）における通告について

○丸部長説明

◇上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会

○岡田課長説明

◇文化祭の日程について

○岡田課長説明

◇当面する今後の日程について

○丸部長説明

午後2時50分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 泉山 浩幸

会議録調整者 岡田 詔彦